

2024年6月25日

各位

会社名 わかもと製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 五十嵐 新
(コード:4512 東証スタンダード)
問合せ先 広報室長 目 篤
(TEL:03-3279-0371)

VSY Biotechnology GmbH 社(ドイツ)製の多焦点(3焦点)トーリック眼内レンズ (開発コード:WP-2011)の製造販売承認申請に関するお知らせ

わかもと製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 五十嵐新)は、VSY Biotechnology GmbH(本社:ドイツ、CEO: Fatih Ergin)から導入した多焦点(3焦点)トーリック眼内レンズ(開発コード:WP-2011)について、2024年6月24日付で厚生労働省に医療機器製造販売承認申請を行いましたので、お知らせします。

国内において白内障手術は年間150万件以上行われており、眼科手術の中でも最も大きな領域のひとつです。白内障手術時に挿入される眼内レンズは、現行ほとんどが「単焦点」であり、「遠方・中間距離・近方」のいずれかしか焦点が合わないため、手術後は「補助眼鏡」の装着が必須となります。近年、複数の焦点を有する「多焦点」に世界的な関心が高まっています。

昨年12月に承認申請しましたノトーリック多焦点(3焦点)眼内レンズに今回の多焦点(3焦点)トーリック眼内レンズをラインナップに加えることで、より多くの患者様のニーズにお応えできることが期待できます。

VSY Biotechnology GmbH について

VSY Biotechnology GmbH は、シュトゥットガルト(ドイツ)に本社を置く、眼科と整形外科の分野を注力領域とするバイオテクノロジー企業です。同社は創業以来、「持続可能な革新と開発」を基盤とした同社の将来像と戦略の下、その魅力的なプロダクトポートフォリオをもって社会の健康に貢献することに取り組んでいます。

トーリック眼内レンズについて

トーリック眼内レンズは、乱視矯正効果が期待できる眼内レンズです。乱視とは、角膜や水晶体のゆがみなどにより光の屈折に異常が生じ、網膜(黄斑部)に焦点を結ばず、文字やものが二重に見える、ぼやけて見えるなどの症状を呈する状態をいいます。白内障手術では水晶体を取り除くため、水晶体が原因の乱視はなくなりますが、角膜由来の乱視は手術前とほぼ同じだけ残るため、トーリック眼内レンズを挿入することにより、角膜乱視を低減することができます。

以上